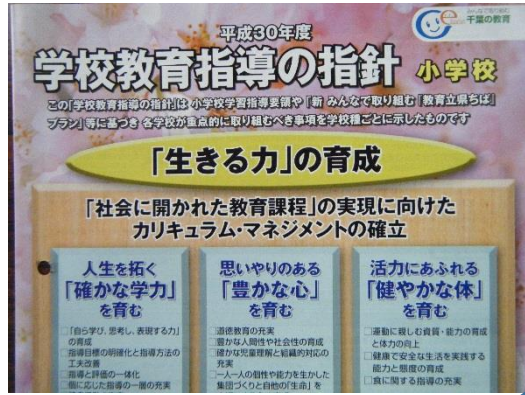


千葉県「学校教育指導の指針」



八千代市「施策方針」「重点目標」

- 1 子どもたちの可能性を引き出す教育
- 2 教育を核とした地域社会の構築

学校教育目標
「健康で豊かな心と基礎学力を身につけた子どもの育成」
【めざす学校像】
 ・みんなで考え、みんなで創る学校
 ・みんなで歩み、みんなで伸びる学校
 ・みんなで働き、みんなで拓く学校

本年度の重点

「基礎学力」知

- 基礎と基本の視点から、学習指導要領に基づき「子どもたちの可能性を引き出す教育」をめざす。
- ・基礎的な知識
- ・基本的な技能・思考・判断
- ・主体的、対話的で深い学びのように学ぶか
→何を学ぶか
→何ができるようになるか

「豊かな心」徳

- 集団での学びにおいては、程よい学習規律が豊かな心を培う土台となる。
- 多様な体験（成功も失敗も）が豊かな心につながる。
- ・視野を広げて（学級集団）
- ・考えを深めて（異年齢集団）
- ・当事者意識で（現実体験）
- ・五感を通して（具体・実物）

「健康」体

- 管理面として、児童の心身の健康のために、安全・安心な学校でなければならない。
- ・物の安全
- ・人の安全・安心
- ・組織の安全・安心
- 児童自らの健康・体力への意識や実践・技能の向上を図る。

「育成」めざす教師の姿

- ・子どもを愛する教師
- ・自己を高める教師
- ・信頼する教師
- 「『育て』て『成る』」ための指導の工夫・努力が、まさに教職員の楽しみ。
- 学校教育目標への理解を深めた、統一感のある教育活動の展開
- ・子供の可能性を引き出す、授業づくりに努める。
研究教科を核に、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」という視点で、授業改善する。
- ・次期学習指導要領の移行期間と全面実施に向け、教育課程の改善を推進する。
特別の教科道徳、英語科に関する研修の充実と、授業力の育成を図る。
- ・中期的な視野を見据えた教育課程の推進
2020年を見通したオリンピック・パラリンピック教育の推進や、教育課程特例校としての英語活動や英語科の授業改善に努める。
- 地域人材の招へい、地域での現場学習
- 安全・安心を最優先した、強固な人間関係の構築
- ・合言葉「笑顔・挨拶・声かけ」で、円滑な人間関係づくり。
合言葉の意義を理解し、「上に立つ者ほど」率先して行い、児童、教職員が「名前付き」で、挨拶や声かけができる関係づくりを目指す。
- ・安全で、衛生的、効率的な教育環境を保ち、改善する心がけ。
危機管理意識を高め、不具合はすぐ修繕、手入れがなされ、合理的な配置の教育環境整備を推進する。
- ・一人ひとりの特性を活かす、組織・集団作り
チャレンジ精神を応援しつつ、冷静な声かけと素直な対応の心地よさを時間できる校風を目指す。
- 校務分掌や経験を最大限活かした、高め合う職員集団の育成
- ・教育公務員としての自覚と、不祥事根絶に向けたモラルアップに努める。
「社会人としての常識」「あたりまえのこと」等を再認識する機会を意図的に設け、不祥事根絶を常に意識する教職員集団づくりを推進する。
- ・初若年教員、中堅教員、ベテラン教員の持ち味を活かした研修・研究の推進に努める。
目標申告を活用し、分掌主任としての思いを尊重し、これまでの教職員経験を活かせる場の構築に努める。
- 将来を見通し、阿蘇小学校地区の教育環境の望ましい姿をめざして、家庭や地域や地域住民と連携し、「教育を核とした地域社会の構築」に資する。

「身につけた子ども」めざす児童像

- ・仲間の心がわかる子（感性）
- ・豊かに表現する子（表現）
- ・ねばり強くやり遂げる子（実践）
- 「できるまで粘り強く繰り返す」のが基本的考え方。
- ・「安全」は、常に100%でなければならない。
- ・「安心・健康」は、100%をめざす。
- ・「豊かな心」「基礎学力」は、個々の児童において向上の変容をはかる（特別支援教育、個に応じた支援の充実）
- 地域全体の学力向上（家庭学習の習慣化）
- ・家庭学習カードの改善に努めるとともに、教育を核とした地域社会の構築に向けた啓発の推進。
- 小・中・高・大の連携・交流による教育機会の拡大
- ・子どもサミット等の活用による連携の推進や、中長期的な視野から、教育を核とした地域社会の構築を目指す。
- ・阿蘇・米本地区におけるベトナムを核とした国際交流を推進する。

保護者・地域

- 「家庭学習の習慣化」の取組
- 地域人材の招へい、地域での現場学習への協力

